

## 概要

「認知症高齢者支援AI/IoTシステム」のパイロット事業を継続実施しシステムの精度向上を図るとともに、令和4年度の「認知症高齢者東京アプローチ」※の提言に基づき、将来的な社会実装に向けたサービス手法を検討

- ※ 「AIとIoTにより認知症高齢者問題を多面的に解決する東京アプローチの確立」（大学研究者による事業提案制度採択事業）  
 事業期間：令和2年度から4年度  
 提案者：国立大学法人 電気通信大学 田野俊一教授  
 事業内容：「認知症高齢者支援AI/IoTシステム」を大学が設計し、介護事業所においてパイロット事業を実施。都全域で実施するための「東京アプローチ」を大学が都に提言。

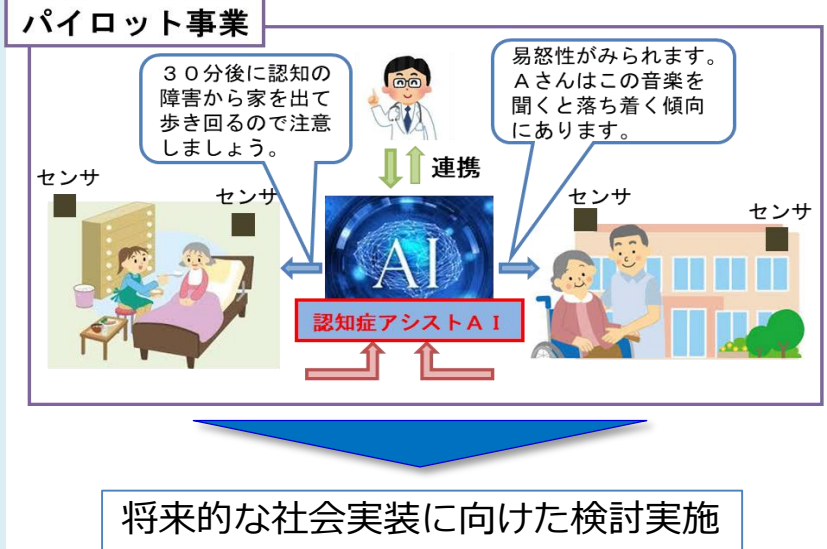
## 事業内容

【目的】 AIとIoTを用いて認知症のBPSDの発症を予測し、予防支援策を導くことで、認知症高齢者のQOLの向上、家族・介護者の負担軽減を図る。

### 【概要】

- ① 「認知症高齢者支援AI/IoTシステム」のパイロット事業の継続実施
  - ・ AIとIoTを用いて、認知症のBPSDの発症を予測し、その方の状態に応じた適切なケアの方法を提案する「認知症高齢者支援AI/IoTシステム」を大学が設計・運用
  - ・ 大学と都が連携し、都内の介護施設等を対象に、「認知症高齢者支援AI/IoTシステム」のパイロット事業を継続して実施し、データの更なる蓄積及びシステムの精度向上を図る
- ② 将来的な社会実装に向けた検討
 

「東京アプローチ」をもとに「認知症高齢者支援AI/IoTシステム」の将来的な社会実装に向け、医療機関、機器メーカー、IT系企業、保険会社等の連携事業者とともにサービス手法の検討を実施



将来的な社会実装に向けた検討実施